

評価基準

評価項目		評価の視点（基準）	配点
業務遂行能力 ・実施体制	①	組織体制や人員など業務全体を統括する実施体制と管理体制が整っており、事業を効果的に実施できる体制が確保されているか ・人員配置（責任者、担当者の配置、実務経験など） ※業務における多様な視点を確保する観点から、性別・年齢等に配慮したチーム編成をしている提案は加点対象とする。 ・技術者の能力、配置数 ・協力会社等（ライター、イラストレーター等の起用予定含む）の体制	20
	②	過去にWEBサイトを構築した（再委託先として構築した）実績があり、また、住まいに関する高い専門性が必要となるコンテンツ・記事の作成等に対応できる体制が確保されているか ・WEBサイトの構築実績 ・住まいに関する幅広い専門知識に関する情報等の保有状況（実績等） ・コンテンツ・記事の作成	30
	③	スケジュールは適切か ・WEBサイト公開時期（先行公開、本公開、追加公開の時期）	10
	④	契約期間内に作成可能なコンテンツ・記事等の数量の目安が明示され、本業務終了時点のWEBサイトのコンテンツ・記事等の充実度	20
企画力	⑤	「やまなしKAITEKI住宅」の魅力を県民に強く訴求するとともに、県民の住まい選びをサポートするコンテンツが効果的に企画されているか ・「やまなしKAITEKI住宅」の普及とサブコンテンツとなる県民の住まい選びのサポートという2つの目的・趣旨がWEBサイト上で適切に整理され、また、関連づけられるものとなっているか ・「やまなしKAITEKI住宅」の魅力的な発信への期待 ・県民の住まい選びをサポートする豊富なコンテンツ	20
機能性	⑥	UI/UX設計、適切なCMSの導入、次年度以降の拡張性等が可能か ・シンプルで直感的な操作性（ユーザー及び管理者の双方） ・頻繁に更新されるコンテンツ等の仕分けと、それに合ったCMSの導入 ・次年度以降の機能等拡張性	10
デザイン性	⑦	「やまなしKAITEKI住宅」のブランドコンセプトに適合したデザインと、各種情報を的確かつわかりやすく伝える洗練されたデザインが期待できるか ・洗練された高いデザイン性・ブランディング力への期待 ・目的の情報へのアクセス容易性 ・多種多様なデバイスへの対応	30
維持コスト	⑧	次年度以降のランニングコストの明示と価格優位性	10

別紙(評価基準)

価格点	⑨	配点 × 応募者中の最低価格／提案者の価格 ※小数点以下第1位で四捨五入	10
合計			160